



小型高性能貫流型風車



ミニストーンミル



牛乳プリンのパッケージデザイン

ものづくり創出支援事業制度を活用して完成した製品

財団法人 室蘭テクノセンター

テクノだより

No. **001**

2010

TECHNO-DAYORI



テクノセンターは、室蘭地域（室蘭市、登別市、伊達市）の
中小企業振興を図る支援機関として、企業の技術力、経営力を高め、
地域産業の発展を目指します。

発行にあたって

日頃から、賛助会員をはじめ、室蘭市・登別市・伊達市、室蘭工業大学の皆様には、当財団の運営に際しまして、格別の御指導、御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、今日、国内の景気は回復基調にあると言われてますが、地域産業を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いてまして、昨今の急激な円高の進行や、国の事業仕分けによる各種事業、補助金制度の廃止や縮小などの見直し等々が、道内をはじめ、地域経済に少なからず影響を及ぼしているものと実感しているところでございます。

こうした状況下にあつて、当財団としましては、地域企業の切実な要望に応えるべく、新事業創出、市場開拓、人材育成を中軸とした各種事業を展開してきております。

このたび、当財団が平成21年度に取り組んだ各種事業実績を掲載した「テクノだより」を作成し、各関係機関の皆様にお届けすることとしました。

小誌ではございますが、当財団の活動について再認識していただくとともに、ものづくりのまち室蘭地域の理解と更なる発展の一助となることを期待し、これからも当地域企業への支援、関係機関との連携に努めていく所存でございます。

平成22年10月 吉 日

財団法人室蘭テクノセンター

理事長 天 里 勝 成

テクノセンターの各種事業支援

ものづくり創出支援事業

室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）に蓄積された技術・人材などの産業資源を活用し、起業化から新分野への展開、技術研修まで幅広く対応し一体化した支援を行うことで、新製品・新技術の開発、新事業の創出を促進します。

《補助事業メニュー及び対象事業》

1. 新製品・新技術開発の芽育成支援事業

事業化等の可能性のある新製品・新技術の開発に対する調査研究事業または基礎技術確立事業など。

▶ 21年度は5件の調査研究を支援しました。

2. 商品化推進支援事業

「マーケティング調査、消費者ニーズ調査などの需要調査」や「新製品のデザイン開発や既製デザインの改善実用化事業」、「生産技術等の開発や既存技術の改善」など。

▶ 21年度は1件の市場調査を支援しました。

3. 新製品・新技術事業化支援事業

市場投入の実現性が高い新製品・新技術の研究開発事業など。

▶ 21年度は2件の研究開発を支援しました。

4. 創業支援事業

新分野への事業展開のための事務所経費を助成。

▶ 21年度は2件の創業を支援しました。

5. 市場開拓支援事業

新製品・新技術の展示会等への出展や開催、ホームページ及びパンフレットなどの企画・作成や公的商談会等への参加など。

▶ 21年度は6件のホームページやパンフレットの作成及び展示会への出展を支援しました。

6. 技術・技能習得研修支援事業

技術・技能・デザイン開発等の習得のための先進企業や試験研究機関への技術者派遣、又は専門技術者招聘等による人材教育や研修事業など。

7. 資格取得支援事業

製造業にかかる技能士

《補助対象者》中小企業者及び任意の団体等

《補助限度額》室蘭テクノセンターのホームページ等をご覧ください。

これまでの「ものづくり創出支援事業」制度利用実績一覧

事業名	(件数)						
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
新製品・新技術開発の芽育成支援事業	13	16	15	13	13	11	5
商品化推進事業	0	0	3	2	1	1	1
新製品・新技術開発助成事業	2	1	2	0	0	0	2
市場開拓支援事業	2	2	3	4	3	4	6
創業支援事業	1	1	0	0	2	3	2
ISO 認証取得支援事業	8	8	2	1	—	—	—
技術・技能習得支援事業	—	—	—	—	4	2	0
資格取得支援事業	—	—	—	—	1	2	0
計	26	28	25	20	24	23	16

A



B



C



写真Aは、市場開拓支援事業を活用しパンフレットを作成した「PCB保管庫」
 写真Bは、市場開拓支援事業を活用し「小型燃料電池技術展」に出展
 写真Cは、新製品・新技術開発の芽育成支援事業を活用し商品化された
 「串刺し料理用皿」

市場開拓支援事業

地域企業の製品・技術の受注拡大を図るため、「首都圏企業訪問」や「ほっかいどう首都圏受発注拡大商談会」に参加しました。

1. 首都圏企業訪問

- 開催日 平成21年11月17日(火)、18日(水)
- 参加企業 3社…アオキ製作(株)、(株)西野製作所、興和工業(株)
- 訪問先企業 4社…(株)荏原製作所(藤沢事業所)、極東産業(株)、日本環境安全事業(株)、ホソカワミクロン(株)

2. ほっかいどう首都圏受発注拡大商談会

- 開催日 平成21年11月18日(水)
 - 開催場所 東京国際フォーラムホール
 - 参加企業 発注企業 17社
受注企業 38社
- ※室蘭地域から4社(アオキ製作(株)、(株)キメラ、(株)西野製作所、興和工業(株))が参加しました。

産学官連携支援事業

1. フロンティア技術検討会の開催

テクノセンターの基本4事業の1つであります「産学官連携支援事業」で、室蘭工業大学との共催により、「世界と地域から地球環境への取り組みを考える」をテーマに講演会を開催しました。

- 開催日 平成21年12月2日(水)
- 開催場所 中嶋神社「蓬峯殿」
- 講演内容 演題：「オバマ大統領のグリーンニューディール政策から日本を考える」
講師：エネルギー戦略研究所取締役研究所長 山家 公雄氏
- 参加者 91名
- 主催 室蘭地域産学官連携事業実行委員会
(構成：室蘭テクノセンター・室蘭市・室蘭工業大学地域共同研究開発センター・同研究協力会)



2. 企業技術・製品展示会の開催

地域で培われた地元企業の技術と製品を市民に公開し、室蘭地域の「ものづくり力」を実感してもらうための展示会を開催しました。

- 開催日 平成21年10月27日（火）、28日（水）
- 開催場所 室蘭市市民会館
- 出展企業 23社
- 来場者 延べ1,000人以上
- 主催 室蘭テクノセンター
- 後援 室蘭市、登別市、伊達市、北海道地域産業技術連携推進会議

（出展会場）



3. 産学官連携支援室

産学官連携支援コーディネータにより室蘭工業大学と企業との産学連携の促進と外部資金獲得のための大学シーズピックアップとコーディネートを行いました。

- ①開発の芽育成支援事業に係る大学との共同研究 4件
- ②大学と地域企業との仲介に関する研究室訪問・相談 92件

4. ビジネスEXPO（北海道 技術・ビジネス交流会）

毎年、秋に開催されるビジネスEXPO「第23回北海道 技術・ビジネス交流会」に参加し、地域企業の技術や製品等のPRを行いました。

- 開催日 平成21年11月12日（木）、13日（金）
- 開催場所 アクセスサッポロ（札幌市白石区）
- 出展企業 4社

～ 出 展 内 容 ～



5. 地域新ビジネス創出システム推進事業

産業創出の推進を図るため、地域のニーズや素材を元にしたビジネス化のアイデアを掘り起こすとともに、企業等が発案した取り組みについて、開発、事業化及び販路開拓等を幅広く支援しながら産学官連携による新たな地域産業を創出しました。

- ①地域産業プロデューサーの配置（ビジネスコーディネーターが兼務） 2名
- ②産業創出の芽の発掘・プロジェクト化への企画検討プロデュース
（試作、開発企画、市場調査含む） プロデュース実施テーマ 4件

6. 産学交流事業

産学交流プラザ「創造」会員相互の企業情報交換や室蘭工業大学の教員との交流を行い、人的ネットワークの形成と新たな共同研究発掘のため、同プラザの運営支援を行いました。

産学交流プラザ「創造」について

本会は、地域の産業界、大学、行政機関等が連携する幅広い交流活動により、最新の情報を得て、経営資源として活用するとともに、ものづくり力を高めること。

また、会員同士一致協力のもと、環境に配慮しつつ研究開発および、その成果の事業化を目指すことによって、室蘭地域の産業振興に資することを目的とする。

事業の内容

1. 会員相互の意見交換・情報交換、交流
2. 大学からのシーズ提供、教員との交流
3. セミナーの開催
4. テーマ別調査、研究開発プロジェクト、事業化プロジェクトの推進
5. その他目的に合致する事業

○会員数 地域企業（大学含め）35社

○事業実績 定例会として、総会や他地域の視察訪問、講演会などを始め、毎月1回、会員企業の紹介や交流会を開催。

経営支援事業

1. 技術・経営、特許相談

財団のビジネスコーディネーター、特許相談員、室蘭市産業振興システムタイザーなどの専門家による技術・経営等の相談指導、各種支援制度の紹介及び申請指導を行うほか、大学・研究機関への仲介を行いました。

総数	受発注	技術	経営	創業	その他
497件	7件	119件	60件	3件	308件

2. 地域企業訪問ヒアリング

①企業経営者・管理者との面談により、企業ニーズの収集を行ったほか、技術開発、製品開発に向けた意向調査を行いました。

○実施期間 平成21年6月15日～平成22年1月28日

○訪問企業数 53社（製造業33社、卸売業1社、サービス業9社、その他10社）

②主な要望

- ・研究開発補助金・助成金のコーディネート及び指導
- ・人材の育成・教育、情報提供
- ・共同研究、技術指導に関する産・学・官への仲介
- ・市場開拓に対する支援、情報提供
- ・各種講演会・講習会の開催、情報提供

3. 中小企業早期再生支援システム構築事業

北海道の受託事業として、中小企業の経営安定の取り組みを強化するため中小企業の直接相談や、信用金庫と連携した経営悪化の初期段階において、各種施策の活用について支援しました。

- ・再生マネージャーの配置
- ・経営相談の段階的対応

4. 新事業展開等支援体制構築事業

北海道の受託事業として、新事業展開や新分野進出を目指す中小企業を積極的支援しました。

- ・インキュベーションマネージャーの配置
- ・事業戦略やプランニングづくり等の相談受付、アドバイス等の個別支援

5. 地球温暖化対策人材養成セミナーの開催

経済産業省の補助事業で、地球温暖化対策としてCO₂排出量を把握することで、その削減への理解を深めることを目的とした管理者向け・実務者向けセミナーを開催しました。

- 開催日
- | | |
|------------|----------------------|
| ・管理者向けセミナー | 平成21年12月2日（水） |
| ・実務者向けセミナー | 平成22年1月26日（火） 27日（水） |

○開催場所 中嶋神社「蓬峽殿」

○内容

- ・管理者向けセミナー（講演）

①演題…「室蘭地域における水素社会形成の可能性」

講師…室蘭工業大学大学院工学研究科

くらし環境系領域 教授 田村 亨氏

②演題…「LCAコンサルティング トップセミナー
— LCAの発展可能性」

講師…社団法人産業環境管理協会

製品環境情報事業センター所長 壁谷 武久氏

③演題…「中小企業の省エネ実践セミナー」

講師…財団法人室蘭テクノセンター

ビジネスコーディネーター 安澤 典男氏

- ・実務者向けセミナー

（社）産業環境管理協会講師によるパソコン等を使用した実務講習



国からの受託事業

1. 戦略的基盤技術高度化支援事業

経済産業省の受託事業で、下記のとおり平成19年度採択分（20年度に引き続き）及び平成21年度採択分をそれぞれ実施しました。

平成19年度採択	
研究開発テーマ	加工条件の最適化による高機能かつ微細な多極を有する狭ピッチコネクタ用成形金型の開発
研究内容	高機能かつ微細な狭ピッチコネクタ用成形金型の開発及び、各種加工方法のデータベース化とソフトウェア作成のため、加工精度の実現に向けた最適な加工条件のデータ収集及び分析、工具・砥石の適正な選択や、加工方法等の自動最適化システムの構築、金型用鋼材のデータ収集及び分析を実施し、ソフトウェアを開発
共同研究機関	(株)キメラ、三菱電機(株)
実績額	2.5千万円

平成21年度採択	
研究開発テーマ	熱処理の後工程処理後における変寸のばらつきを低減する熱処理技術の開発
研究内容	多くの産業において重要な要素技術である熱処理と後工程を連携して変寸発生メカニズムを解明し、不良現象を抑制する熱処理技術を確立するため、供試体等によるデータの収集を実施
共同研究機関	室蘭ヒート(株)、(株)ダイナックス、北海道立総合研究機構工業試験場
実績額	4.2千万円

2. 低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業

経済産業省の受託事業で、低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業を実施しました。

平成21年度採択	
実証研究テーマ	農工循環資源を利用した亜寒帯沿岸域藻類によるCO ₂ 吸収実証モデル事業
研究内容	「農工循環資源を用いた低CO ₂ 型資材」及び「施肥ユニット」と「藻類の樹脂化・オイル化技術」を組み合わせ、亜寒帯沿岸域での藻場（藻類量）拡大～藻類バイオマス化の実証技術を検証するため、水和固化体、施肥ユニットの製造準備と藻類の樹脂化・オイル化のラボベースでの実証を行った。
共同研究機関	新日本製鐵(株)、(株)テツゲン、新日鐵化学(株)、五洋建設(株)、(株)エコニクス、国立大学法人北海道大学、国立大学法人静岡大学
実績額	11.2千万円（一部22年度に繰越）

テクノセンタースタッフの支援

テクノセンターには、技術や経営に関する相談に必要なビジネスコーディネーターなどの専門のスタッフがいます。

私たちスタッフが室蘭地域の中小企業が抱える様々な課題解決のお手伝いをします。

●^{かみで}上出産業振興システムタイザー

主に室蘭工業大学と企業間の共同研究推進支援や同大学CRDセンターとの共同事業のコーディネートを行っています。

また、国、道や外郭団体が扱う各種制度活用の支援や産学交流プラザ等の団体運営支援、その他地域中小企業の技術・経営支援を行っています。

●^{あんざわ}安澤ビジネスコーディネーター

エネルギーや環境関連の技術開発や商品開発等に関する相談や指導などを行っています。21年度は地域新ビジネス創出システム推進事業のテーマを3件、ものづくり創出支援事業の開発テーマを2件発掘し、それぞれの目標を達成させました。また、地元中小企業5社の省エネ診断・対策を実施し、その内容をフロンティア技術検討会で講演しました。市場開拓支援事業では、首都圏企業を訪問、テクノセンター単独の市場開拓を行うことにより、地元企業の受注拡大を支援しました。

●^{やまもと}山本ビジネスコーディネーター

知的財産（特許、商標等）に関する相談や指導、地域企業訪問等によるニーズの把握や技術相談・指導等を行っています。21年度は53件、企業訪問を行いました。また、テクノセンターには北海道の知的財産情報センター室蘭サテライトが開設されていますので、知的財産に関する相談について気軽に利用してください。

●^{ありた}有田再生支援マネージャー

中小企業の経営安定の取り組みを強化するため、中小企業の直接相談や金融機関と連携した企業の早期再生について支援しています。21年度は経営相談の段階的対応など36件について対応しました。

●^{おがさわら}小笠原インキュベーションマネージャー

新事業展開や新分野進出を目指す中小企業の事業戦略やプランニングづくり等の相談受付やアドバイス等の個別支援を行っています。21年度は62件の相談対応をしました。また、ものづくり創出支援事業の申請窓口を担当しており、21年度は新製品・新技術開発の芽育成支援事業など16件について支援しました。

[※インキュベーション：新しい事業を創る]

■ 平成22年度の事業概要

1. 技術・製品開発支援事業として

ものづくり創出支援事業による新製品・新技術研究開発へ支援や外部資金導入支援を行うとともに、現在、進行中の戦略的基盤技術高度化支援事業、低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業のプロジェクト管理を確実に遂行し、地域の技術・製品開発の推進を図ります。

2. 市場開拓支援事業として

ものづくり創出支援事業メニューなどを活用して、新製品、ホームページ、パンフレット等の作成支援や市場調査支援、公的商談会の参加支援、新規顧客開拓支援を行います。

3. 産学官連携支援事業として

室蘭工業大学地域共同研究開発センター内「産学官連携支援室」の活用促進を図るとともに、地域と大学との交流促進、産学交流プラザ「創造」の運営支援、さらに中核支援機関として、地域新ビジネス創出システム推進事業による各支援団体や、産業界・大学・研究機関との連携強化、地域の産業創出に向けたプロデュースの推進を図ります。

4. 経営支援事業として

技術・経営・特許やコスト削減などの幅広い範囲で、相談・指導・企業訪問によるニーズ把握を実施するほか、企業を支える人材育成の視点から、研修や資格取得のための支援を行います。また、中小企業の早期再生支援やインキュベーションマネージャーの配置による企業の新事業展開におけるプランニング支援などを行うとともに、産学官金融連携による支援の動きを活発化させていきます。

賛助会員を募集しています！

当センターは、企業・機関・団体の皆様に、賛助会員として加入していただき事業運営を円滑に実施したいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

会費：年会費 <10>2万円 スタッフ一同会員の皆さんを応援します！

商標・特許等についてのご相談がありましたら、
「北海道知的財産情報センター・室蘭サテライト」
までお問い合わせください。

《申込方法》 相談内容、連絡先電話番号、利用者氏名を明記し、下記メールアドレスにお送りいただくか、電話で申し込みください。

《受付時間》 平日9時～12時、13時～17時
(※土・日・年末年始はお休みです。)

《問合せ先》 (財)室蘭テクノセンター
TEL：0143-45-1188 E-mail：satellite@jiii-h.jp